

「理学」に続き「工学」も



中森氏(社ナノテック)が博士号

ナノテック(埼玉県白岡)ド・ライク・カーボン(DLC)の中森秀樹社長(46、写真C)に関して「理論と工学の真」は、日本大学から02年の「理学博士」に続き、今春、「工学博士」の学位を授与された。主力事業のダイヤモンド。中小企業で理学と工学の両面から研究を進展させ、会社の技術を向上させたい」との熱い思いの努力が実った。約5年間の研究の末に、理学博士となった。

さらに研究の虫が騒ぎ、生産工学にも挑戦。3年の研究を重ね、今回の快挙となった。「産学連携の重要性を理解していたので、頑張り続けることができた。これからは一連の研究成果を新事業に応用したい」と中森社長の挑戦は続く。

クターの称号を持つ経営者は数少ない。

同社はDLC膜成形装置などを手がける研究開発型ベンチャー。中森社長は20代でDLCと出会

い、以降この研究に没頭。そのプロセスにおいてDLCの物性に関する知識が乏しいことに気づき、この研究に着手。